



【ぞうめき】 蔵目喜地区とは

阿東蔵目喜地区は、古くから鉱山で栄えた地域で、この一帯に大小様々な鉱山が確認されています。江戸時代には、藩の主要鉱山として、主に銀や銅、鉛を産出していました。“蔵目喜”的地名は、鉱山で栄えた町場に人々がぞめきに行く、「(ぞめき)とは、「ひやかす」「騒ぐ」こと」といったことが地名に転じた、と近世の地誌に記録されています。蔵目喜鉱山のうち、昭和39年に閉山した桜郷鉱山の一部は、『桜郷鉱山跡農村公園』として整備されており、銅を採掘した“露天掘跡”や、採掘した銅の“水選鉱跡”などを見学することができます。

【じょうとくじ】 常徳寺について

しゅつどうざん
常徳寺は、山号を出銅山と称する浄土宗の寺院です。幾度かの災禍に見舞われ、寺史などの史料は焼失して残っていないが、江戸時代の文献には、文和3年(1354)に創建され天正年間(1573~1593)に再興されたという記録や、天正期(1573~1593)に創建・再興されたという記録が残っています。また、境内に残る石造物の多くが天正~慶長期(1573~1615)に作られたものであることから、常徳寺はこの時期に創建または再興され、繁栄していたものと考えられます。この天正~慶長期は、蔵目喜鉱山が繁栄していた時期とも重なり、鉱山の繁栄で地域一帯が経済的に潤っていたと推測されます。

雪舟作庭の伝承が残ることから、室町時代にさかのぼる可能性も考えられる一方、雪舟が禪僧であることから宗派が異なることなども考慮すると、現在の場所に常徳寺が創建される前に、別の寺があった可能性も考えられます。



常徳寺 〒759-1343 山口県山口市阿東蔵目喜1498番地

お問い合わせ先

山口市教育委員会文化財保護課

TEL 083-920-4111 FAX 083-920-4112 E-mail bunkazai@city.yamaguchi.lg.jp

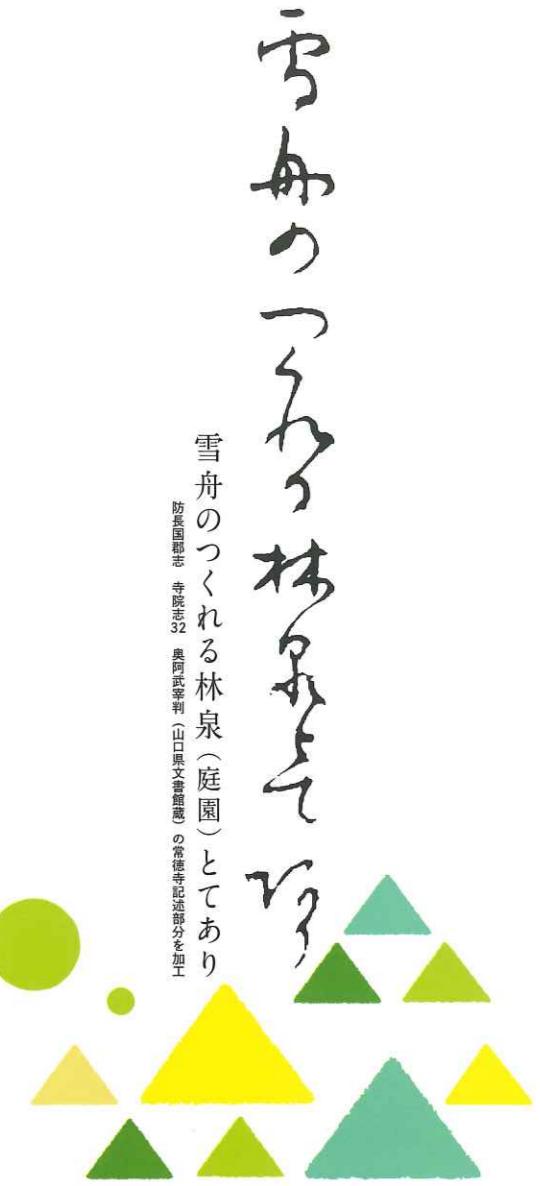


国指定名勝 常徳寺庭園

雪舟のつくる林泉(庭園)とてあり

本庭園は、古くから雪舟作として伝わってきました。江戸時代後期の文献『防長風土注進案』や『防長國郡志 寺院志』には、雪舟作との伝承が残ることや、江戸時代後期にはすでに庭園が荒廃し、埋没していた様子が記述されています。なお、山口県内には近世から近代の書物に雪舟作庭との伝承が記されている庭園が12例ありますが、近世の文献に限定すると本庭園や常徳寺庭園など4例のみとなり、由緒のある伝承ではないかと想像されます。

やありつらむふみそ



常徳寺庭園の特徴

本庭園は池泉鑑賞式庭園で、特徴は、北側の山から延びる自然岩盤を巧みに利用して渓谷風の滝石組に仕上げていること、また、中島上に外形の優れた大ぶりの景石を集中的に据えていることなどあります。池泉に流れこむ水は、庭園の南東方向にある鍾乳洞（通称：こうもり穴）から湧き出る水であり、中島の周囲を通って、池尻から町川へと排出されます。渓谷風の滝石組から池泉に水が流れ込むさまは、近隣にある国指定名勝長門峠の渓谷のようでもあります。

庭園の背景に目を向けると、現在は木が生い茂っていますが、昔は、庭園の南東約50m先にある高さ約18mの石灰岩の岩峰（通称：地蔵の滝）の上部が見えていたと言われています。また、その手前には、池泉の取水源でもある鍾乳洞（通称：こうもり穴）がある石灰岩の岩山もあります。本庭園を、庭園だけを見るのではなく、背景の景観まで含めて一つの景色として見てみると、雪舟筆『秋冬山水図』（国宝）の『冬景図』に景観の構成が似ているのではないか、と指摘されています。（鈴木・明石 2008）



01 中島上には、形の良い景石が据えられています。写真中央の大きな景石は、前方に倒れていましたが、発掘調査の結果から石が立っていた痕跡が認められたことから、整備工事では石を起こしています。なお、石を起こす際に、現在の向きがよいか、それとも天地逆の向きがよいか、庭園の専門家と検討し、現在の形となりました。

02 自然岩盤を利用した築山。対岸に配置した大型の立石の間から水が流れ込むさまは、あたかも渓谷のようです。

常徳寺庭園の歴史

江戸時代の文献には、すでに埋没している状況が記されていた本庭園ですが、平成8~10年度（1996~1998）に行なった発掘調査により、中央に中島のある池泉鑑賞式庭園であったことが明らかとなりました。このほかに、庭園は作庭のうち2度改修をされていること、また1度目の改修は慶長年間（1596~1615）に行なわれた可能性が高いことなどがわかりました。この調査により、「近世初頭の優れた作庭として価値が高い」として、平成12年（2000）に国の名勝に指定されました。また、平成24~27年度（2012~2015）に追加の発掘調査を行なったのちに、発掘調査の成果などをもとに、文化財庭園としての適切な保存・活用を図るために、整備工事をおこないました。整備工事では、第2期（江戸時代初期）の遺構を中心に整備しています。

常徳寺庭園のことを詳しく知りたい方へ
～常徳寺庭園および藏目喜鉱山関連の文献～

- 阿東町教育委員会 1992『銅の町 藏目喜・山口県藏目喜銅山跡分布調査報告書』
- 阿東町教育委員会 1999『阿東町埋蔵文化財調査報告書第2集 常徳寺庭園』
- 鈴木誠・明石理恵子 2008『名勝常徳寺庭園と雪舟』『日本庭園学会誌』19
※下記山口市教育委員会 2016『常徳寺庭園2』に掲載
- 山口市教育委員会 2016『山口市埋蔵文化財調査報告第117集 常徳寺庭園2』